

2022 年度 環境ユースフィールド研修 募集要項



主 催：独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金部

受託団体：一般社団法人 九州環境地域づくり

目次

1. 環境ユースフィールド研修について.....	2
(1) 目的.....	2
(2) 各プログラムの日程	2
(3) 定員および対象	3
(4) 応募資格	3
(5) 研修参加費	3
2. 応募方法および応募締切日	4
(1) 応募方法	4
(2) 申込先	4
(3) 応募締切日	4
(4) 応募方法に関する注意事項	4
(5) 研修生の選考・通知	4
3. その他	5
4. 研修参加にあたっての注意事項	5
5. 個人情報の取り扱いについて.....	5
6. 問い合わせ先	6

別添資料

研修スケジュール

1. 環境ユースフィールド研修について

(1) 目的

この研修では、地域における環境問題の現状を知り、現場での実践的な経験や知見を得る機会を提供することで、将来的に環境 NGO・NPO をはじめとしたさまざまなセクターで環境保全に携わる人材を発掘・育成することを目的とします。

地域の環境保全に強い関心を持ち、持続可能な地域社会の実現に貢献したいという意思を有した学生等を中心としたユース世代を募集します。

(2) 各プログラムの日程

環境ユースフィールド研修は、「事前研修」、「本研修」、「事後報告会」の 3 部構成で実施します。各プログラムの日程及び開催場所、内容は以下のとおりです。なお、本研修の参加者にあたっては、事前研修及び事後報告会への参加が必須となります。

また、新型コロナウイルスの感染状況により、日程が予備日へ変更となる場合があります。

事前研修

日 程：2022 年 11 月 12 日(土)13:00～16:00

(予備日：2023 年 1 月 28 日(土)13:00～16:00)

方 法：オンライン研修(zoom 開催)

※使い慣れた PC、タブレット（可能な限り PC (WEB カメラ必須) を推奨) を使用してください

※安定して速度のあるインターネット回線への接続および雑音が少なく話しやすい静かな場所で受講してください

内 容：訪問地域の基本情報と SDGs や ESD の考え方、サステナビリティの基礎について学びます。また、事後報告会で発表する報告について各自で課題設定を行います。

本研修

日 程：2022 年 11 月 21 日(月)～11 月 23 日(水・祝) (3 日間)

(予備日：2023 年 2 月 9 日(木)～2 月 11 日(土・祝) (3 日間))

場 所：熊本県阿蘇郡南阿蘇村村内

内 容：訪問先でのヒアリングやワーク等を通じて、地域の持続性向上・環境問題の

解決・SDGs 達成に向けた活動の実践事例や課題を学びます。
※各日のスケジュールについては別添の参考資料をご確認ください

事後報告会

日 程：2022 年 12 月 9 日(金) 13:00～16:00
(予備日：2023 年 2 月 18 日(土) 13:00～16:00)

方 法：オンライン研修(zoom 開催)

※使い慣れた PC、タブレット（可能な限り PC (WEB カメラ必須) を推奨) を
使用してください

※安定して速度のあるインターネット回線への接続および雑音が少なく話し
やすい静かな場所で受講してください

内 容：事前研修・本研修を踏まえ、各自が予め設定していた課題に沿って報告書
を作成し、発表と相互フィードバックを行うことで、多様な視点で地域と課題
の理解をより深めます。

(3) 定員及び対象

定 員：7 名

対 象：地域の環境保全に強い関心をもつ 18 歳以上～25 歳以下の方(本研修は将来的
に環境 NGO・NPO をはじめとしたさまざまなセクターで、地域の環境保全に携
わる人材を発掘・育成することを目指していることから、今回の選考にあた
っては研修の実施地域である九州・沖縄地方に居所している方及び同地域の
出身者を優先いたします)

※高校生は応募できません

(4) 応募資格

- ① 2022 年 9 月 20 日時点で 18 歳以上 25 歳以下の方（高校生は不可）
- ② 研修の目的や趣旨を理解し、貫徹する意思や学習意欲があること。
- ③ 事前研修から事後報告会まですべての日程に参加できること。
- ④ 安全面等に配慮した集団行動ができること。
- ⑤ 一時的な短期滞在者(在留カードを有していない者、外国人登録をしていない者、
過去 1 年間に日本に滞在していない者、1 年以内に日本から離れる可能性のある者)
でないこと。

(5) 本研修の参加に係る費用

本研修の参加にあたり、居住地と集合・解散場所の間の移動費、本研修期間中の
宿泊実費(2 泊分、13,000 円程度)及び飲食に係る費用を自己負担いただきます。

※飲食にかかる費用については、参加確定後、金額の目安をお知らせします

また、次の経費は別途、各自でお支払いいただきます。

- ・ 個人的性格の費用(クリーニング代、通信費、娯楽費等)
- ・ 傷害、疾病に関する医療費
- ・ 任意の旅行傷害保険

2. 応募方法および応募締切日

(1) 応募方法

独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金のホームページ (<https://www.erca.go.jp/jfge/training/r04/haken.html>)から必要書類をダウンロードし、必要事項を記載の上、Eメールに添付してお送りください。提出書類は下記のとおりです。(郵送での応募はできません。)

- ① 2022年度環境ユースフィールド研修 申込書
- ② SDGs や環境保全活動にかかる所属団体等からの推薦状
※推薦状の提出は任意ですが、選考の参考資料といたします

(2) 申込先

kikin_kensyu@erca.go.jp (件名を「環境ユースフィールド研修申込_氏名」としてください。)

(3) 応募締切日

2022年10月21日(金)16:00(厳守)

(4) 応募方法に関する注意事項

必要書類や記載事項に不備があった場合は、選考の対象になりませんのでご注意ください。

- ・ 応募いただいた方全員に 2022年10月24日(月)までに、必要書類受領のメールをお送りします。上記の日までに受領メールが届かない場合は、「6. 問い合わせ先」までご連絡ください。
- ・ 応募書類の内容について、2022年10月24日(月)16:00 までに10分程度電話等によるヒアリングを実施する場合があります。

(5) 研修生の選考・通知

- ・ 申込書類をもとに趣旨に照らして選考します。

- ・ 選考結果は、メールで2022年10月28日(金)までに通知します。

3. その他

- ・ 選考の結果、研修適格者が募集人数に満たない場合(最少催行人数:3名)、または研修先地域の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況や災害などで計画どおりの実施が困難になった場合、研修の実施を中止することがあります。

4. 研修参加に当たっての注意事項

- ・ 本研修の参加者は、事前研修および事後報告会への参加が必須となります。
- ・ 本研修の参加にあたっては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種等の予防注射は必須ではありませんが、事前に主催者から送付する抗原検査キットで本研修初日の朝に検査を受けていただきます。検査の結果陽性となった場合は参加できません。
- ・ 研修中は、主催者や受託団体の担当者(以下「主催者等」という。)の指示や決められた手順に必ず従ってください。主催者等や他の研修生に迷惑をかける行為、或いは決められた活動に参加しない等、主催者等が研修生としてふさわしくないと判断した場合は、研修生としての資格を失います。
- ・ 本研修において、発現した持病や既往症に係る治療費などについては、旅行傷害保険の補償の対象となりません。この場合、治療費などの費用は、当該研修生の負担となります。また、引き続き研修に同行できる状態にならないときは、研修生としての資格を失います。
- ・ 研修生としての資格を失った場合(研修生自己都合による辞退の場合を含む)に発生する各種のキャンセル料・手数料等は、原則として当該者が全額負担するものとします。また、本研修中に資格を失い、帰宅する場合の旅費も当該研修生の負担となります。
- ・ 本研修においては、主催者負担にて国内旅行損害保険に参加者全員が加入します。
- ・ 本研修中の事故や病気等が起こった場合は、国内旅行傷害保険の範囲内において補償するものとします。なお、研修先で研修生の故意または過失によって損害が生じた場合の賠償責任は全て当該研修生が負うものとします。

5. 個人情報の取り扱いについて

参加申込書にてご提供いただいた個人情報については、選考に関するご連絡及び研修

の実施に伴う業務のみに使用し、その他の業務には使用いたしません。

6. 問い合わせ先

独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 番 ミューザ川崎セントラルタワー8 階

電 話：044-520-9505

メール：kikin_kensyu@erca.go.jp

別添資料

研修スケジュール

【事前研修】

日程		実施方法	プログラム内容
11/12 13:00 ～ 16:00	土	<zoom 開催>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション（自己紹介、訪問先についての説明） ・サステナビリティ基礎講座 ・阿蘇地域・南阿蘇の基礎講座 ・意見交換、課題設定

【本研修】

日程		訪問先等	プログラム内容
11/21	月	<p>熊本桜町バスターミナル、熊本空港 集合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出発（空港～西原村方面～南阿蘇村） ・俵山峠展望ポイント ・道の駅あそ望の郷くぎの ・南阿蘇村役場 ・後藤コーヒーファーム ・久石ファーム 	<p>※集合時間、集合場所は参加者の発着地にあわせて設定します（集合時間は12時前後を予定）</p> <p>阿蘇カルデラ地形と南郷谷の景観から地域特性を知る</p> <p>《観光拠点を活用した地域づくりの取組》</p> <p>《南阿蘇村の概要とビジョン》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南阿蘇村 地震からの復興、SDGs 未来都市 ・地域循環共生圏の取組み事例 ・世界農業遺産について <p>《コーヒー栽培事業を活用した地域の魅力発信》</p> <p>《地域農家の取組紹介・食のおもてなし体験》</p> <p>南阿蘇村久石地区の農家による農業組合法人久石ファームによる新規就農者の育成、地産地消メニューの開発、村の文化や景観を活かしたガイドツアープログラムの開発等の事例紹介と食のおもてなし</p>

			<p>《1日のふりかえり》 研修に向けた自身の課題設定と共有</p>
11/22	火	<p>熊本地震の被災遺構地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数鹿流崩之碑展望所 ・ 旧東海大学阿蘇キャンパス ・ 阿蘇草千里ヶ浜 ・ 阿蘇中岳・火口周辺 	<p>《みなみあそむら観光局 (DMO、観光地域づくり法人) に聞く》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南阿蘇村のツーリズム戦略と復興と地域づくりについてのダイアログ <p>Active Nature Guide あそ Be 隊によるプログラム 《阿蘇地域におけるツーリズム》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○レクチャー <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立公園における環境保全とツーリズム ・ 地域と連携したプログラム展開 ○フィールドワーク <ul style="list-style-type: none"> ・ e-Byke を使った活動体験 <p>《1日のふりかえり》 学び・気づき・エトセトラ 課題設定の変化や方向性</p>
11/23	水 ・ 祝	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO 法人田舎のヒロインズ ・ GIAHS CAFE (ジアスカフェ) ・ 旧両併小学校 <p>熊本桜町バスターミナル、熊本空港 解散</p>	<p>《環境 NPO に聞く》 「世界農業遺産登録地での農と暮らし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動紹介、圃場見学 ・ 関係者 (02 ファーム、藤原農園) とのダイアログ ・ 一般社団法人 GIAHS ライフ阿蘇が運営する、地域住民の持続可能な暮らしと環境に配慮した地産地消のコミュニティカフェ <p>《3日間の活動のふりかえり》 研修生からのフィードバック、課題設定の掘り下げ</p> <p>※解散時間、解散場所は参加者の発着地にあわせて設定します (解散時間は 15 時前後を予定)</p>

※南阿蘇村での宿泊先は「栃木温泉 旅館朝陽」(<http://www.minamiaso.co.jp/>) 〒869-1404 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽 3986-1 TEL : 0967-67-0333 です

※研修地や受入団体の事情により、行程や内容を変更する場合があります

※新型コロナウイルス感染症等の状況により、行程や内容の変更ならびに中止となる場合があります

【事後報告会】

日程		実施方法	プログラム内容
12/9 13:00 ～ 16:00	金	<zoom 開催>	<ul style="list-style-type: none">・研修のふりかえり・成果発表プレゼンテーション (発表7分+質疑3分×7名)・相互フィードバック・修了式